

住民 & 日本共産党の共同が、政治を動かしています。

新年度京都府予算案に、くらし・教育の願いが反映。

2008年度京都府予算案などを審議する2月定例府議会が行なわれています。この予算案には、府民の運動と議会の論戦で、重要な前進面が盛り込まれました。日本共産党京都府議員団は、府民のみなさんと力をあわせ、くらしと営業を守るため、この議会でも全力をつくしています。みなさんの声をお寄せください。

原油高の融資対象「幅広く見る」

京都府、共産党の質問に表明

原油価格高騰の影響等により業況が悪化している中小企業の資金繰りを改善するため、「原油価格高騰対策等特別融資」（新たな借り入れも含め、返済期間を10年に延長できる）を創設し、幅広く運用していくことを明らかにしました。

日本共産党の迫祐仁議員が予算特別委員会で、「運用にあたっては幅広く見ていくということによいか」と質問。商工部長が「業種は幅広く見ていく」と答弁したものです。

業者のみなさんから「売上げの減少と原材料の高騰で返済が厳しくなっている中、吉報だ」と歓迎されています。



「30人程度学級」に向けて前進

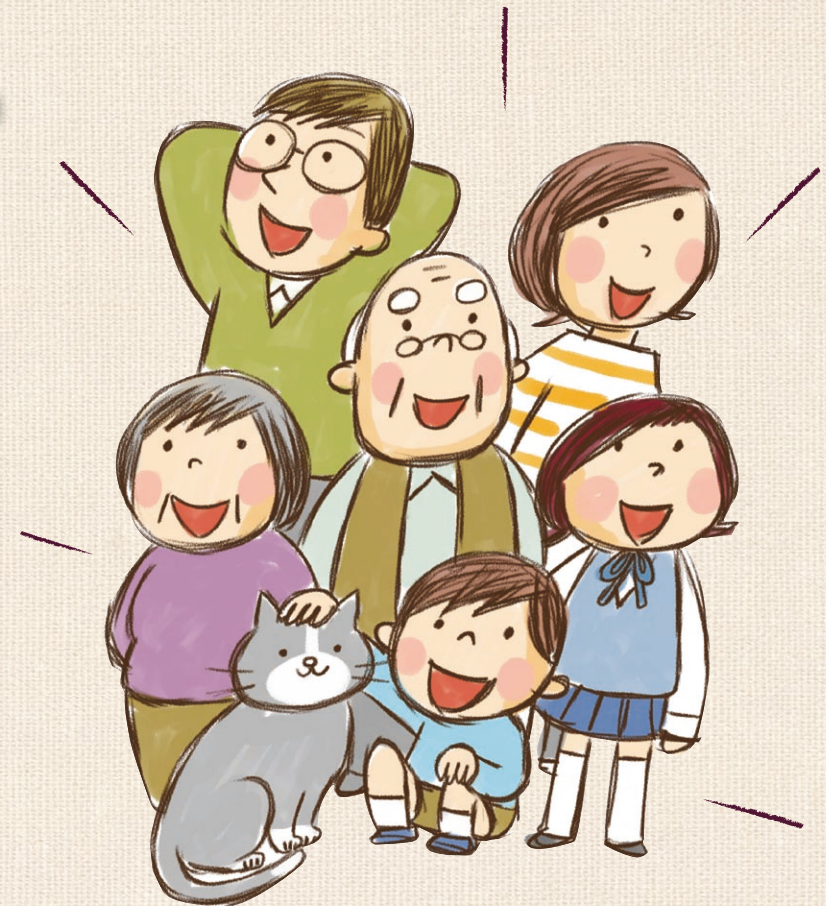
「30人程度学級」について、すべての小学校で3年生から6年生の学年を30人程度の学級編成にできる教員を2年間かけて配置することになりました。これは、長年にわたる父母・教職員の要求が実現したものであり、党議員団は引き続き小・中学校のすべての学年で30人学級実現のため力をつくします。

派遣労働

「使い捨ては許せない」の質問に 知事も「法整備へ意見を述べる」

いま、全国で問題となっている人間をモノのように使い捨てにする派遣労働の深刻な実態。2月府議会本会議で、前窪義由紀議員、かみね史朗議員が取り上げました。

青年の過酷な雇用実態、痛切な声に対する認識を知事に問い、日雇い派遣の禁止や登録型派遣を厳しく制限することなど、労働者派遣法の抜本的な改正が急がれているとして、「国に強く求めるべきだ」とただしました。これに対して知事は「正規雇用の大切さが見直される時期にきている。関係法令も整備されるよう、意見を述べていきたい」と答弁しました。



耐震改修助成も規模が拡大

木造住宅耐震改修助成制度も、改善されました。対象地域の拡大、住宅の規模要件の廃止、耐震強度も0.7以上も可とし、設計費も含むことになりました。これは、全京都建築労働組合（京建労）をはじめとする団体等の改善要望で実現したものです。

府政についてのご要望、ご意見は、
日本共産党京都府議員団に
お寄せ下さい

<http://www.jcp-kyotofukai.gr.jp/>

京都府議団

検索

E-mail: giindan@jcp-kyotofukai.gr.jp

発行/日本共産党府会議員団 2008年3月

☎075-414-5566 ☎075-431-2916 発行責任者/松野好秀

日本共産党府議会報告

ここまで削るのか！

山田知事の問答無用の切り捨てに怒りの声！

2008年度の京都府予算案では、府民のくらしを支える施策を今年も削減。さらに、老人医療費給付事業費や国民健康保険事業費なども、今後見直ししようとしています。これは自治体として本来果たすべき役割を後退させる「自立・自助」を基本とした山田知事の「構造改革」路線の立場を示しています。これには、各界から怒りの声が巻き起こっています。

私立高校生の授業料補助を切り捨て

京都府はこれまで、近隣府県の私立高校に通学する生徒にも、一人年間4万8千円を授業料補助として支給してきました。ところが予算案では、新年度の新入生から廃止するとしています。

日本共産党のかみね議員は、一般質問で、「他府県であっても私学で学ぼうとする熱意や努力に冷水を浴びせるものであり、撤回すべきだ」と強く迫りました。

難病患者への二つの見舞金も廃止

難病患者療養見舞金（一人年間1万円を約1万3千人に支給）、小児慢性特定疾患患者見舞金（一人年間6500円を約2200人に支給）も来年度から廃止することが提案されています。

患者団体のみなさんからは「通院・入院費用が増え、状況が悪化している。そんな中で見舞金をやめるのはおかしい」と、抗議の声が上がっています。



京都難病団体連絡協議会の申し入れを受ける日本共産党府会議員団（2月27日）

税金のムダづかい止めよ！

予算案では、本来メスを入れるべき税金のムダづかいは見直されていません。これらをただせば、府民のための事業は切り捨てなくて済みます。

▶ 京都府も同和奨学金返済肩代わり！

京都市長選挙で争点となった同和奨学金の返済肩代わり。市民の批判の中で、発表された京都市予算案では、返済を肩代わりしてきた自立促進援助金の計上が見送られました。

ところが京都府予算案では、**同和奨学金返済肩代わりをはじめ、旧同和施策に6億8千万円を計上**しています。

▶ 京都市内高速道路計画のひとつ、斜久世橋線の建設促進に**3億円**（4年間で**12億円**）

▶ 畑川ダム建設に**3億2千万円**

許せない！ ムダづかい！



また、破たんした学研都市の第3セクター「けいはんな」に、**府民の税金15億円**を出資してきた京都府の責任は重大です。

後期高齢者医療制度

高齢者への差別医療は中止を！

政府が4月1日から実施するとしている後期高齢者医療制度は、高齢者に新たな負担と差別医療を持ち込むもので、日本共産党は一貫して中止・撤回を求めています。同時に、保険料負担軽減への支援を繰り返し求めてきました。

後期高齢者医療制度の保険料軽減に**7800万円**

京都府の予算案には、後期高齢者の保険料を軽減するための府独自の支援として**7800万円**が盛り込まれています。

日本共産党府会議員団は、**くらしと営業を守るため、全力でがんばります。**